

胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究に対するご協力をお願い

研究代表者 福岡大学医学部産婦人科教授 宮本 新吾

このたび、日本産科婦人科学会専門委員会小委員会(班研究)として下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

全国で 2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの 3 年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さんが対象となります。目標症例数は 2,000 例で、当施設を含む全国の基幹病院(約 400 施設)が研究に参加します。研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、その旨を診療を受けた施設までご連絡ください。

2 本研究の意義、目的、方法

この研究は胞状奇胎除去術後の再掻爬が必要かを確認することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。研究の方法ですが、胞状奇胎除去術を受けた患者さんのカルテより、再掻爬の有無、続発症を中心とした情報を収集します。取得した研究対象者の情報を日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」へ送付し、詳しい解析を行って胞状奇胎除去術後の再掻爬の有用性を検討いたします。

3 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で研究参加施設より調査小委員会に提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

4 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記の研究事務局へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療を受けた施設へのご連絡をお願いいたします。

施設担当者 埼玉メディカルセンター産婦人科 金田 佳史

TEL : 048-832-49511 大代表 FAX : 048-825-0322 (医局)

研究事務局 九州大学病院産科婦人科 兼城 英輔

TEL : 092-642-5395 FAX : 092-642-5414 Email : kaneki@med.kyushu-u.ac.jp